



# のびのび若っ子

つなげる

校長 中島 早苗

三寒四温の言葉通り、春を思わせる嵐や冷たい北風を繰り返しつつ3月を迎えました。校門近くの梅が紅白の美しい花を咲かせ、春の訪れを感じます。

学校では、どの学年も総まとめの時期となってまいりました。卒業や進級を目の前にして一年間を振り返る時でもあります。2月の代表委員会では、「この九か月、どんなことをして、どんなよい姿を見せることができたか、各学年の取組を振り返ろう」を議題に、「今年の反省を生かし、来年、よりより学校生活を送る姿」をめざして話し合いました。委員会活動も今年度の最後の活動で振り返りを行い、残りの期間の常時活動の取組の姿勢を考え、来年度につなげます。さかのぼること、8か月前。6年生10名が校長室を訪れました。10名は、各委員会の委員長となった児童です。委員会活動を行うにあたっての心構えや助言など、話をしてほしいということでした。私は、「できることを工夫して」「つなげる」「支える」をキーワードに、一人ひとりに語りかけました。学校再開から約一か月。一人ひとりの瞳の奥に、最高学年としての真っすぐな願いや決意を見ることができ、心が震えた瞬間でした。

私は、子ども達に「夢、願い、思い」をもつことの意味を折にふれて伝えてきました。そして、強く願ったのならば実現させるために継続して努力することを伝えてきました。継続して努力することは、難しいことです。だからこそ子ども自身が振り返ることを学習でも、日常でも大切にしたいと考えます。

6年生が思い描き、取り組んだことは、若葉台小学校の伝統の一つとなって、未来へとつながります。工夫して取り組んだたてわり活動では、5年生がバトンを引き継ぎ、6年生に感謝の思いを伝える「ありがとうパーティ」の中心となって活動しています。今年度幼稚園保育園との交流ができなかった1年生は、小学校生活を紹介したいと動画づくりに取り組んでいます。学校再開時から1年生とのつながりを模索してきた6年生の動画が、1年生には大きな影響を与えています。

3月20日で6年生が卒業します。今年の卒業生は93名です。小学校生活最後の1年間、制限はありましたが、WSC（運動会）、たてわり活動、修学旅行と、知恵を結集して工夫を重ね、何事にも、前向きに取り組んできた学年です。卒業証書授与式は、各ご家庭1名の参列とさせていただくことになりました。地域の方の参列は今年度も見送りさせていただきました。長年に渡り、学習の支援や登下校の見守りをいただいたことに、御礼申し上げます。

保護者・地域の皆様には、一年間、本校の教育活動を支えていただき、ありがとうございました。最後まで、子ども達を見守っていただけますように、よろしく願い申し上げます。

若葉台小学校学校教育目標

『自他共に大切に作る心を育みます』『意欲的な学びの芽を育みます』